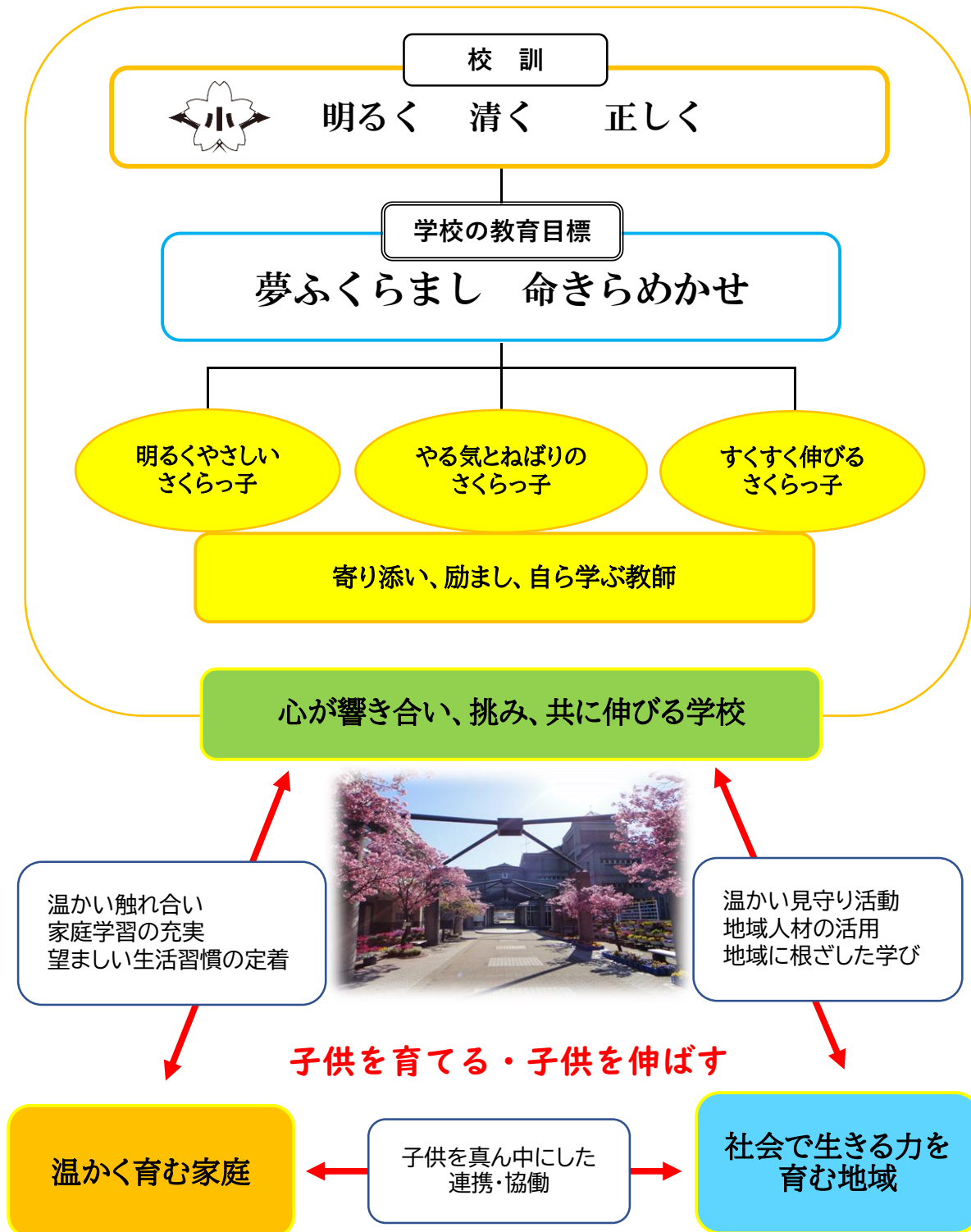


令和8年度 教 育 計 画						学校番号 40	
松山市立さくら小学校							
校長名	大砂 直樹	学級数	29 (6)	児童数	704	教職員数	40



重 点 目 標	1 やる気とねばりのさくらっ子（知） ○ 自ら学び、考え、表現する力の育成と学習習慣の定着 ○ ICTを効果的に活用した分かる授業の展開 ○ 対話を通して考えを深める学び合いの推進 2 明るくやさしいさくらっ子（徳） ○ 多様性を認め合い、一人一人が居場所を実感できる学級づくり ○ 自分事として捉え、想像力を働かせる道徳教育、人権・同和教育の推進 ○ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 ○ 地域を愛し、誇りに思うふるさと学習の更なる充実 3 すくすく伸びるさくらっ子（体） ○ 運動の楽しさを味わい、生涯にわたる健康の基礎をつくる体力向上 ○ 「自分の命を守る」危機管理能力を育む安全・防災教育 ○ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の定着
管 理 運 営	1 人的管理 ○ 明るく風通しのよい、話しやすく支え合える職場づくり ○ 業務の精選と地域連携による、柔軟で持続可能な働き方の推進 ○ 教育専門職としての自覚と信用失墜行為の根絶 ○ 組織的な危機管理意識の向上と実践 2 物的管理 ○ 日常的な安全点検と教育環境の整備及び充実 ○ ヒヤリハットの共有による未然防止体制の確立 ○ 地域共生を見据えた施設管理と開かれた学校づくり 3 事務管理 ○ 厳正な経理運用と共同学校事務室との連携 ○ 情報セキュリティ対策と個人情報保護の徹底 ○ DX（デジタルトランスフォーメーション）の視点に立った業務効率化の推進
本 校 教 育 の 特 色	本校は、平成元年の開校当初より、オープンスペースを最大限に生かした風通しのよい教育環境を築いてきた。ワークスペースを活用した学びや学年の枠を超えた異学年交流は、創立時から大切にしてきた伝統である。この「教育の創造」に向かう姿勢を継承し、デジタル化や多様化が進む社会に対応した教育の発展を図っている。 国際的な交流活動も本校の大きな柱である。姉妹校であるサクラメント市マツヤマ小学校との絆を軸に、子供たちが世界を身近に感じ、広い視野を持って主体的に行動できるグローバルな資質の育成に努めている。